

5GとVRによる地方創生セミナーを開催

総務省北陸総合通信局（局長 三田 一博）は、令和2年10月15日、北陸情報通信協議会との共催により、福井商工会議所コンベンションホールで「5GとVRによる地方創生セミナー」を開催し、同時にYouTube Liveにより配信する方法で実施し、会場には24名、配信では延べ54名の参加がありました。

最初に「5G・ローカル5Gを含めた今後の電波利用の動向」と題し、総務省の布施田電波政策課長からリモート講演により5Gの超高速、超低遅延などの特徴に加え、Beyond 5G(6G)に向けては、さらなる超低消費電力化やVRなどの完全仮想化による自律性の向上が加っていくとの最新動向について説明がありました。

第2部は「ローカル5Gによる地方創生」をテーマとして、(株)エイビット5Gビジネスユニット長の池田氏から5G実験試験局の開設、実証試験の実施など同社の最新の取組について、ハードウェア、ソフトウェア両面から紹介があり、続いて岩見沢市の黄瀬情報政策推進担当次長から、地元農家とタイアップした自動走行トラクター遠隔監視制御などのスマート農業の取組を紹介、先進分野での5G活用に向けた着眼点について説明がありました。

第3部は「地方創生に即したVR事例」をテーマに富山県総合デザインセンター所長の桐山氏からVRによる工業製品デザイン制作や自動車デザインなど今後のビジネス分野における活用が見込まれるVR利用の紹介があり、続いて福井コンピュータ(株)の浅田氏から、同社が開発した「VRを活用して土木建築用のスモールモデルによらず構造物の事前検討を可能とするツール」など建設現場におけるVR活用事例の紹介がありました。



セミナー会場ではソーシャルディスタンスを確保して開催

これら講演内容から、5Gの特徴を積極的に活用した「VR」が生み出す地方の新たな可能性を展望するうえで、地域ブランド醸成や人材の確保に向けた取組の必要を知るセミナーとなりました。



総務省
布施田電波政策課長



(株)エイビット
5Gビジネスユニット長
池田 博樹 氏



岩見沢市
情報政策推進担当
次長 黄瀬 信之氏



富山県
総合デザインセンター
所長 桐山 登士樹 氏



福井コンピュータ(株)
MA営業課エキスパート
浅田 一央 氏

お問い合わせ先
無線通信部電波利用企画課
076-233-4470